SSH NEWS 2026.　第32号

SSH NEWS

未知に、挑もう。
神奈川県立横須賀高等学校

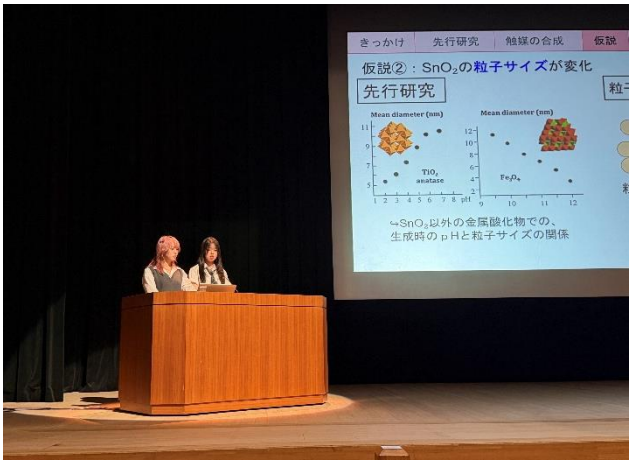
熊本県立天草高校の探究成果最終発表会に参加しました！

令和８年７月 15 日(水)熊本県にある天草市民センターにて、令和８年度熊本県立天草高等学校スーパーサイエンスハイスクール ARP 探究成果最終発表会が実施されました。熊本県立天草高等学校は７月に横須賀市文化会館にて「水深 10m 海底でのアマモの養殖の可能性」を発表してくださった学校です。今回は Super Principia から１グループが熊本県へ発表に伺いました。今回は代表して３年２組　荒井 菜々香さんにお話を聞きました。
以下は発表タイトル、アブストラクト、発表メンバーです。

【タイトル】SnO_2の前駆体溶液のｐＨが触媒性能に与える影響
【アブストラクト】第３級アミンは、農業・医薬品・機能性材料等幅広い分野で利用されている。従来の合成法では均一系触媒や試薬を用いる場合が多く、触媒の再利用ができない点が問題になっている。その点で SnO2 は手に入りやすい固体酸触媒であり、再利用ができる。SnO2 触媒の性能は合成条件に大きく依存すると考えられる。そこで本研究では SnO2 の合成時の pH に着目し触媒性能との関係を明らかにすることで、より効率的な第３級アミンの合成を探究した。
【発表者】３年２組　**荒井 菜々香**さん、３年７組　**藤江 夏埜**さん

【発表した感想】

天草高校の発表会に参加させていただきました。私たちの研究テーマが「SnO2 の前駆体溶液の pH が触媒に与える影響」という、日常とは離れていてとっつきにくいものだったのですが、天草高校のみなさんに、様々な質問を交えながら真剣に聞いてもらえて嬉しかったです。質問は、自分たちの発表内容を理解してもらうために必要な部分だったので、そこを改めて説明できたことでより多くの人に内容を伝えられたかなと思います。ポスターセッションでは、スライド発表でカットして話した部分についても伝えられて、天草高校のみなさんからの質問で私たちが気付いていなかった部分にも気付けたことがとても勉強になりました。





【天草高校の発表を聞いて】

天草高校のみなさんの研究は、横須賀高校の研究内容と切り口が違っていました。横須賀高校では化学や文学、宇宙などの分野の中から自分の興味のあるものを選び、大学や専門機関の方に協力していただきながら研究を進めることが多いですが、天草高校では身近な地域である天草をテーマの中心として、そこから農業や地域経済、環境について、学校の先生の力を借りたりグループ内で話し合ったりして研究をしていました。その場所に慣れ親しんだ人だからこそ気付くことのできる着眼点があり、特に天草の周辺の貝を研究していたグループでは、そこから天草の歴史にまで考察を深めていて面白かったです。発表では、専門的な用語の注釈がポスター外に大きく掲示されていて、初心者でも理解しやすいつくりになっていました。

３年２組　荒井 菜々香